

館山市立館山中学校

千葉県館山市

設計・監理／相和技術研究所

施工／校舎棟・武道場：前田・白幡・石井特定建設工事共同企業体
第一体育館・第二体育館：前田・白幡特定建設工事共同企業体
付帯施設：白幡興業



敷地東側からの外観

アクティビティが見える学校

館山中学校は、館山市立第二中学校と第三中学校を統合し、新たに生まれ変わった中学校である。計画地は館山市の中心部にあり、市役所や公園などに囲まれた、地域とのつながりを育むのにふさわしい環境に位置している。この環境を活かし、「アクティビティが見える学校」という設計コンセプトのもと、開かれた学びの場づくりを目指した。

「アクティビティが見える学校」とは、生徒たちの学びや活動の様子が、校舎のどこにいても自然と感じられるような空間を意味する。学校内での出来事が壁の向こうに閉じ込められるのではなく、空間を通じて共有されることで、生徒同士の交流や刺激が生まれ、学校全体に一体感が生まれるよう設計している。

新校舎は、南側に普通教室、北側に特別教室を配置し、その中心に段差のある「ステップ状の共有空間（大階段・外部テラス）」を設けた。このステップは単なる通路ではなく、生徒が自由に過ごしたり、他学年の活動を目にしたることができる場として機能する。視線が交差し、空間を通じて他者の存在を感じられることで、

学校生活に自然なつながりを生み出す。

武道場は木造とし、構造材を現しとすることで木の質感と温もりが感じられる空間とした。高い天井と開放感のある構成により、武道の場にふさわしい落ち着きと力強さを両立させている。また、空調設備も整備し、年間を通じて快適に利用できる環境とすると同時に、地域の災害時避難所としても活用できるように計画している。

既存の第一体育館は改修を行い、新たに第二体育館を整備した。第二体育館には大きな開口部を設け、渡り廊下から内部の活動

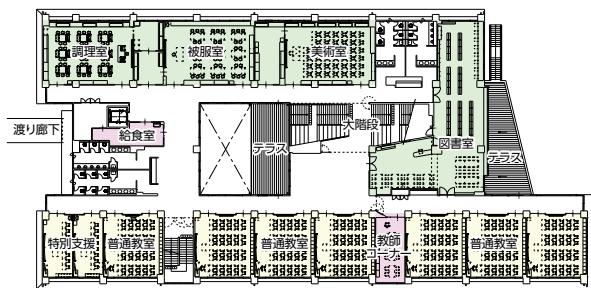
が見えるように設計している。生徒の移動の中で、仲間の練習風景や行事の様子が自然と目に入り、学校全体の活気や雰囲気を視覚的に感じられるようにしている。

このように、本計画では、学びや活動の「気配」が建物全体に行き渡るような空間構成を重視した。視線や動線の工夫により、生徒たちの活動が空間にあふれ出し、学校全体がひとつの大きな学びの場としてつながっていく。そんな日常が自然に生まれるような、新しい学校のあり方を目指した。

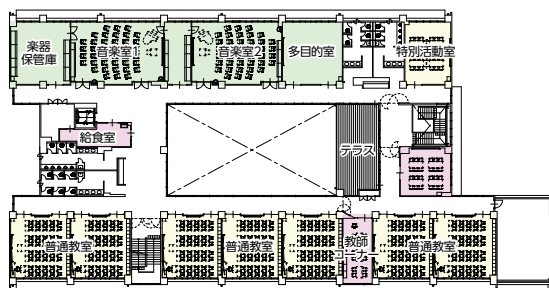
(吉岡和昭／相和技術研究所)



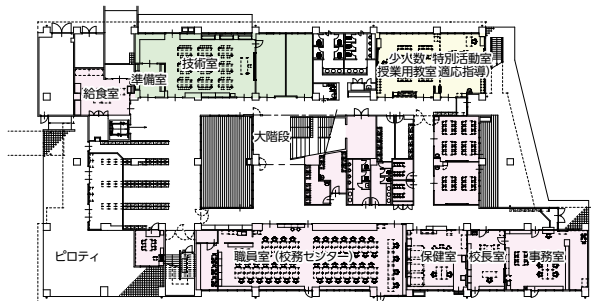
グラウンドより校舎(右)と第一体育館(左)を見る



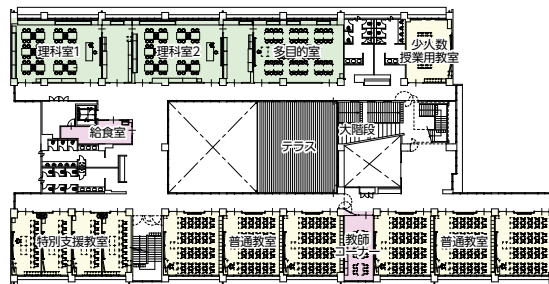
校舎棟 2階平面図



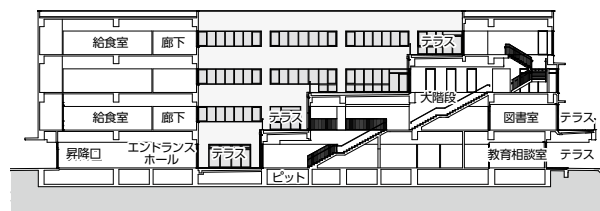
校舎棟 4階平面図



校舎棟 1階平面図 縮尺1/800



校舎棟 3階平面図



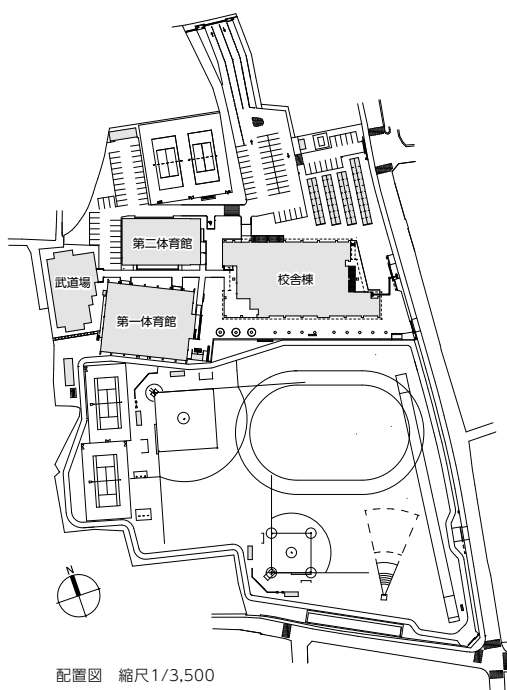
校舎棟 断面図 縮尺1/800



上／中央の大階段を中心とした開放的な空間 中／図書室前のオープンな多目的スペース
下／建物内の「気配」が感じられる外部空間



上／校舎棟の各階をつなぐ中央の大階段 下／校舎の中心に計画したステップ状の外部テラス



配置図 縮尺1/3,500



グラウンドに面したピロティ

施工計画

今回のプロジェクトにおける発注者からの要求事項は、「100年後も利用できる品質の良い建物を、決められた工期内に構築する」ことであった。品質の良い建物を構築するのに一番重要なのは、異種取合い部の納まり検討を事前にしっかり行うことと考え、発注者・設計監理者と何度も協議を重ねて施工を進めてきた。特に、ピロティ部分の外部からの漏水防止策と異種取合いの多い大階段に関しては、打合せに多くの時間を費やした。今回のプロジェクトが工期内に完了したのは、近隣住民の工事への理解と配慮、ならびに遠方からの通勤や宿泊を伴い施工に携わった協力業者の尽力によるものである。各関係者との綿密な協議と調整を積み重ねることで、限られた工期のなかにおいても、設計意図を丁寧にかなにすることができた。（金重清治／前田建設工業）



金重 清治……かねしげ せいじ

1971年山口県生まれ。1994年福岡大学工学部建築学科卒業、同年前田建設工業入社。現在、同社東京建築支店所長



上／図書室 奥にはテラスが見える 左下／木造の武道場 右下／第二体育館

館山市立館山中学校 データ

所在地 千葉県館山市北条1452

主要用途 中学校

建築主 千葉県館山市

設計・監理 相和技術研究所

担当／総括：佐々木守 建築：吉岡和昭、山本 淳、柴田正彦 構造：田中邦夫 電気：山本光也 機械：横田真也

校舎棟・武道場施工 前田・白幡・石井特定建設工事共同企業体

担当／金重清治、菅野陽平、対馬勝治、長谷川展洋、櫻田孝志、長尾将稀、西原大生、西郷太樹、下田吉政

第一体育館・第二体育館施工 前田・白幡特定建設工事共同企業体

担当／天下井順、川名 等、小崎 豪、西郷太樹、西山 元

付帯施設施工 白幡興業 担当／青木 淳

設計期間 2020年6月～2021年2月

工事期間 2022年9月～2024年8月

【建築概要】

敷地面積 36,027.15㎡ 建築面積 6,036.36㎡

延床面積 10,836.34㎡

建べい率 16.72%（許容60%）

容積率 28.72%（許容200%）

構造規模 RC造、S造、木造 地上4階、塔屋1階

【学校施設】

校舎棟 クラス数 各学年6～7クラス 合計20クラス

校舎棟 特別教室 理科室×2室、音楽室×2室、美術室×1室、家庭科室×2室、技術室×1室、図書室

武道場 柔道場、剣道場、更衣室

第一体育館・第二体育館 アリーナ、部室

付帯施設 部室、駐輪場、渡り廊下、防災倉庫、ゴミ庫

特殊設備 太陽光発電設備、雨水再利用設備

【主な外部仕上げ】

屋根 保護断熱アスファルト防水

外壁 防水型複層仕上塗材（一部装飾仕上塗材）

建具 アルミサッシ（防音仕様）

外構 アスファルト舗装、インターロッキング舗装

【主な内部仕上げ】

校舎棟：普通教室 床／天然木複合フローリング 壁／シナ合板OSCL 天井／岩綿吸音板

校舎棟：大階段 床／天然木複合フローリング 壁／合成樹脂エマルジョン系薄付仕上塗材 天井／岩綿吸音板

校舎棟：音楽室 床／天然木複合フローリング 壁／有孔シナ合板OSCL 天井／岩綿吸音板

校舎棟：廊下・ホール 床／ビニル床シート 壁／シナ合板OSCL、複層仕上塗材 天井／岩綿吸音板

武道場：柔道場 床／畳敷き 壁／天然木化粧合板 天井

／構造用合板現し

武道場：剣道場 床／天然木フローリング 壁／天然木化粧合板 天井／構造用合板現し

第一体育館・第二体育館：アリーナ 床／天然木複合フローリング 壁／シナ合板OSCL 天井／現し

撮影／近代建築社（根本健太郎）



佐々木 守……ささき まもる

1961年青森県生まれ。1983年日本大学工学部建築学科卒業後、同年青建設計入社。1987年相和技術研究所入社。現在、同社執行役員東日本統括



吉岡 和昭……よしおか かずあき

1970年東京都生まれ。1996年千葉工業大学工学部建築学科卒業、同年相和技術研究所入社。現在、同社千葉事務所所長



山本 淳……やまもと じゅん

1972年千葉県生まれ。2002年早稲田大学芸術学校都市デザイン科卒業、同年清田育男計画設計工房入社。2020年相和技術研究所入社。現在、同社千葉事務所主任

協力会社

電気設備工事	幸洋電設
杭工	ライオン建設
薦・土工工事	平川建設
薦・土工工事	山村興業
鉄骨階段工事	横森製作所
鉄筋工事	張替鉄筋工業
型枠工事	N'Z（エヌズ）
金具工事	共栄工業
鋼製建具工事	塩浜工業
左官工事	文化シャッター
シーリング・塗膜防水工事	久保脇工業所
タイル工事	マサル
不燃断熱材吹付工事	古平タイル工業
コンクリート打放面塗装材	サンエム工業
押出成形セメント板	大日技研工業
鋼製床工事	アイカテック建材
ダイノックシート工事	染野製作所
内装仕上工事（洗面工事）	チームエフ
トイレブース	エクロール
造作家具・什器備品	小松ウオール工業
サイニング工事	内田洋行
外構工事	アルアンドプッシュ
	前田道路